

JENESYS2015 日本大学生訪問団第1団 訪問日程 平成28年3月1日(火)～3月10日(木)

1. プログラム概要

「JENESYS 2015」の一環として、日本全国から選抜された大学生による、日本大学生訪問団第1団計20名が、3月1日から3月10日までの9泊10日の日程でプログラムを行いました。

一行は韓国滞在中、韓国の学生との交流やホームステイ等を通じて、日本の文化と魅力を発信すると共に、視察や文化体験等を通して、韓国の文化・社会に対する理解を深めました。

滞在中及び帰国後も、SNS等で、積極的に今回の体験を発信しています。

2. 日程

- 3月1日(火) 入国(金浦国際空港)
- 3月2日(水) 【表敬訪問】韓国国立国際教育院、【学校視察】梨花女子大学校
- 3月3日(木) ソウル市内視察(景福宮)
【表敬訪問】在韓国日本国大使館 公報文化院
- 3月4日(金) 特別講義、国立中央博物館見学、ソウル市内視察(ソウルNタワー)
- 3月5日(土) ホームステイ対面式、ホームステイ
- 3月6日(日) 終日ホームステイ
- 3月7日(月) 【文化体験】(K-POPダンス体験)、【学校視察・交流】中央大学校
- 3月8日(火) 慶州へ移動、【視察】仏国寺、瞻星台、雁鴨池
- 3月9日(水) 釜山へ移動、【視察】太宗台、チャガルチ市場、国際市場、釜山タワー
- 3月10日(木) 帰国(金海国際空港)

3. 日本大学生訪問団第1団 プログラム記録写真

韓国

	
<p>(日本語) 3月2日 (城南市) 韓国国立国際教育院訪問</p>	<p>(日本語) 3月2日 (ソウル市) 梨花女子大学校訪問</p>
<p>(韓国語) 3월 2일 (성남시) 한국국립국제교육원 방문</p>	<p>(韓国語) 3월 2일 (서울시) 이화여자대학교 방문</p>
	
<p>(日本語) 3月3日 (ソウル市) 在韓国日本大使館公報文化院訪問</p>	<p>(日本語) 3月4日 (ソウル市) 特別講義 (中央大学校)</p>
<p>(韓国語) 3월 3일 (서울시) 주한 일본대사관 홍보문화원 방문</p>	<p>(韓国語) 3월 4일 (서울시) 한국학 특강 (중앙대학교)</p>
	
<p>(日本語) 3月4日 (ソウル市) 国立中央博物館見学</p>	<p>(日本語) 3月5日 (ソウル市) ホームステイ対面式 (中央大学校)</p>
<p>(韓国語) 3월 4일 (서울시) 국립중앙박물관 견학</p>	<p>(韓国語) 3월 5일 (서울시) 홈스테이 대면식 (중앙대학교)</p>

	
<p>(日本語) 3月7日 (ソウル市) 文化体験 (k-POP ダンス)</p>	<p>(日本語) 3月7日 (ソウル市) 中央大学校訪問</p>
<p>(韓国語) 3월 7일 (서울시) 문화체험 (K-POP 댄스)</p>	<p>(韓国語) 3월 7일 (서울시) 중앙대학교 방문</p>
	
<p>(日本語) 3月8日 (慶州市) 仏国寺見学</p>	<p>(日本語) 3月9日 (プサン市) チャガルチ市場見学</p>
<p>(韓国語) 3월 8일 (경주시) 불국사 견학</p>	<p>(韓国語) 3월 9일 (부산시) 자갈치 시장 견학</p>
	
<p>(日本語) 3月9日 (プサン市) 成果報告会</p>	<p>(日本語) 3月9日 (プサン市) 成果報告会</p>
<p>(韓国語) 3월 9일 (부산시) 성과보고회</p>	<p>(韓国語) 3월 9일 (부산시) 성과보고회</p>

4. 参加者の感想

◆ 日本国 大学生

訪韓前は、訪問することが少し怖かったです。特にホームステイに関しては受け入れて下さるとはいえ、日韓が微妙な関係である上に、英語も韓国語も苦手だったため、とても不安でした。しかし、韓国に行って私の不安は一気に吹き飛びました。ホストファミリーは温かく迎え入れて下さいましたし、私にたくさんの愛情をそそいでくれました。彼らは日本のことについてとても知りたがっていて、その点は驚きました。訪韓した今では、韓国に不安を抱いていた自分が恥ずかしいぐらい、今の自分は韓国が好きです。

◆ 日本国 大学生

私自身、専攻が政治なので、訪韓前は政治的視点でしか、韓国という国をとらえられませんでした。しかし、今回のプログラムに参加させていただき、ホームステイ・自分たちと同年代の学生との交流、訪問団員との交流を通して、「文化の力」というものの大きさを考えさせられました。そして、その力を肌で感じる事ができたことは、私にとって、かけがえのない財産になったと考えています。今後、「私に出来る国際交流」について、もう少し深く考えてみようと思います。

◆ 日本国 大学生

韓国人の心から信頼できる友人・家族が出来たことで、国の対立関係があったとしても個人間の信頼関係の構築で差別感情がなくなると実感しました。戦争の体験をした世代には、韓国をどうしても好きになれない日本人、日本をどうしても好きになれない韓国人は存在すると思います。だから私たちの世代、そして未来世代が積極的にお互いを知り、自分が韓国の良さを発信するなど、信頼関係を築くことは国家間の対立から生まれるその国のイメージを変え、両国の関係改善をすることができると思います。

5. 参加者の発信内容

